

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援さくらんぼ八戸		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 2日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 12月 2日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各専門支援員がそれぞれの分野で情報共有と助言を行い、支援の充実を図っている	定期的に分野別会議を行い、情報や助言を得ることでより良い支援を行えている 複数の評価により、多角的に支援が可能	専門支援を開始したことで、より具体的に会議を行うことが必要になってきている
2	外部の施設やお祭りへ参加をしている	教室内でできることも構造化、役割分担を行っており、屋外での活動では社会的なルールやマナーのスキルを習得でき、児童の成功体験を積むことができる	情報収集と挑戦を安全が確保できる範囲で行っていく
3	児童の意見を取り入れた活動の提供	こういうことがしたいなー、の意見を取り入れることで、希望が叶うこと、興味の拡大、他児への興味の拡大をはかることができる	意見の聞き取りと、実施可能かの途中で時間を要してしまうことが多い。児童へのイメージ定着として、いつの活動、などと提示していければいいと思う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等への参加が固定化している	避難訓練は年2回実施しているが、安全面の関係上、日曜日に実施していることが多い。そのため、固定曜日によっては参加ができていない児童が多数いる。	防災センターの活用
2	情報発信	インスタグラムを中心にSNS発信を行っているが、業務として行っているため時間が限られてしまっている	SNS編集や事務作業ICTの活用
3			